

10代のための本棚

てい〜んず情報誌Vol.30

墨田区立図書館

2020年1月発行

<http://www.library.sumida.tokyo.jp/teensindex>

てい〜んず情報誌

10代のための本棚が

30号を迎えました!

祝



2012年5月から発行しているてい〜んず情報誌『10代のための本棚』が、この号で30号を迎えました。【ティーンズ】とは、子どもじゃないけど大人でもない、中学生・高校生を中心としたティーンエイジャーを呼ぶ言葉です。墨田区の各図書館・コミュニティ会館図書室では、そんな大人の仲間入りをしようとしている世代にもっと本や図書館に親しんでもらうため、さまざまな取り組みを行っています。『10代のための本棚』は、新刊図書や季節に合わせた図書の紹介、ティーンズ向けのイベントの案内などを掲載した情報誌で、現在は年4回発行しています。バックナンバーは、各図書館・図書室に置いてあるほか、墨田区立図書館のホームページにも掲載されていますので、是非ご覧ください。

2019

中学生・高校生のためのPOPコンテスト入賞作品

墨田区立図書館では、毎年、中学生・高校生を対象とした「POP コンテスト」を開催しています。今年も1,079作品の力作が集まりました!

★特選



★準特選

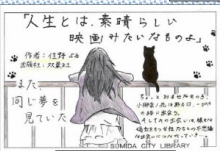
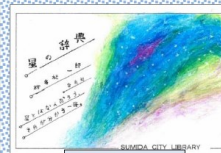
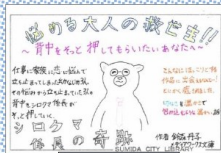


★館長賞



図書館でいう「POP」とは、おすすめしたい本を紹介するためのカードのことです。中学生のおすすめ本をぜひ読んでみてください。

入賞作品のほかに、素敵な作品がたくさんありました。応募作品は、図書館・コミュニティ会館や学校図書館で、本の紹介に使用させていただきます。



★図書館員ライオン賞



★ティーンズサミット賞



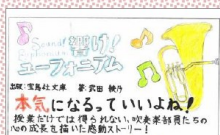
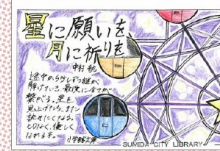
★ピースメーカー

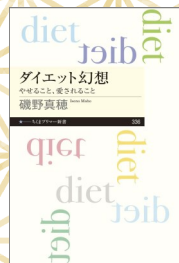


★入選



主催 墨田区立図書館





ダイエット幻想—やせること、愛されること—

磯野真穂／著 筑摩書房 2019.10
「やせたい」、「ダイエットしなきゃ」と言っている女子はたくさんいますが、そもそもなぜやせなければいけないのか？ダイエットにとらわれすぎて悩んでいる人へおすすめしたい一冊。女子だけでなく男子もぜひ読んでみてください。



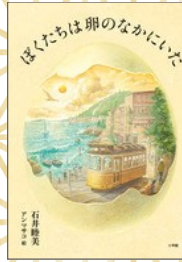
いのち短し、隠れよ男子

安倍雄太郎／著 小学館 2019.7
一目惚れした清香ちゃんの好みは『自分より日舞の上手い人』。ひょんなことから日舞の世界に入った大学生の駿介は兄弟子の吉樹と衝突の日々。でも吉樹は清香ちゃんの憧れの存在で…。日本舞踊のしなやかな姿が見えてくる魅力的な描写がとても素敵な1冊です。



くものイト

中田兼介／著 ミシマ社 2019.9
すばり「蜘蛛（くも）」の本です。クモの種類、生態、行動だけではなく「クモは宇宙へ行っていた」話や網（蜘蛛の巣）の張り方など他ではあまり紹介されていない話がたくさん出ています。これを読んでクモと見つめ合いませんか？



ぼくたちは卵のなかにいた

石井睦美／作 アンマサコ／絵 小学館 2019.7
卵の世界に住む僕たちは、13歳になるとある選択をしなければならない。生まれ育った卵の世界に残るのか、外の世界へ踏み出すのか。主人公と一緒に成長できる物語です。



世界を変えた60人の偉人たち—新しい時代を拓いたテクノロジー—

東京電機大学／編 東京電機大学出版局 2019.7
古代から現代まで、世の中を変えてきたテクノロジー（科学技術）に関わる偉人たちを時代毎に紹介。特撮技術の円谷英二や環境保護運動のレイチェル・カーソン等、幅広い分野の人物を取り上げています。



空飛ぶくじら部

石川宏千花／著 PHP研究所 2019.8
空飛ぶくじら部…活動内容は空飛ぶくじらの優雅な遊びにただつき合うだけ。素敵に聞こえるかもしれないけれど、実際は全てくじらの気分次第。今日もくじらに吸い上げられ、どことも行かない場所でお迎えがくるまでサバイバル生活。さあ、次はどこの世界？



面白いほどよくわかる浮世絵入門

深光富士男／著 河出書房新社 2019.8
ていねいにくわしく解説をしているまさに入門書。基礎知識や制作過程、絵師・彫師（ほりし）・摺師（すりし）の技の数々、人気絵師の名作の紹介など、本物を美術館に行き鑑賞する前の予備知識としても楽しめる一冊です。



レイワ怪談 新月の章

ありがとう・あみ／原作 学研プラス 2019.8
男女4人の子ども達は、同じ町内の野球チームのコーチが大好きだ。そんな浦ジイが死んだ。「死んだら、今よりもっと怖い話をしよう」と生前の約束を守った、浦ジイの二十四の怪談が載っています。

科学道100冊 2019

No. _____
Date _____

科学道100冊／科学道100冊ジュニアは、理化学研究所と編集工学研究所による、書籍を通じて科学者の生き方・考え方、科学のおもしろさ・素晴らしさを届ける事業です。墨田区では以下の図書館で科学道に選出された本の特集を行います。

緑図書館 科学道2019 12/12～2/19

ひきふね図書館 科学道ジュニア 1/5～2/19

立花図書館 科学道2019 3/1～4/30

【科学道100冊で紹介されている本】

「世にも美しき数学者たちの日常」

二宮敦人／著 幻冬舎

「科学と科学者ののはなし」

寺田寅彦／著 池内了／編 岩波書店

【科学道100冊ジュニア】

「寿命図鑑—生き物から宇宙まで万物の寿命をあつめた図鑑—」

やまぐちかおり／絵 いろは出版／編著 いろは出版

“うるうどし”ってなあに？

今年は閏年（うるうどし）です。閏年は4年ごとにあり、2月が29日まであります。

日本では明治6年から現在の新暦（グレゴリオ暦）が使われています。それまでは旧暦（太陰太陽暦）が使われていました。

旧暦の明治5年12月3日が、新暦では明治6年1月1日になってしまったそうです。12月になったと思ったらすぐにお正月になってしまった訳ですから、当時の人々の混乱が想像できますね。

では、なぜ閏年が必要なのでしょう。地球は365日かけて太陽のまわりを1周しますが、どうしてもズレが生じます（実際には365日より約5時間49分長い）。そのため、閏年で調整しているのです。実は、閏年以外にも決まりがあります。

気になる人は、下記の参考の欄を見てみて下さいね。

【参考】

「文科系のための暦読本 —古今東西の暦の「謎」を読む」

上田 雄／著 石原 幸男／監修 彩流社

現行の暦法 | 天文・暦情報 | 海上保安庁海洋情報部

<https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KOHO/faq/reki/shinreki.html>

日本の暦-国立国会図書館

<https://www.ndl.go.jp/koyomi/chapter1/s2.html>